

令和6年度 常葉大学・常葉大学短期大学部  
第1回FD・SD研修会（全学共通研修会）報告

日時	令和6年5月15日（水） 15時10分～16時30分
研修内容	研究倫理について
講師	[①人社系]信州大学医学部公正研究推進講座 樋笠 知恵 助教(オンライン講演) [②医療系] 一般社団法人科学・政策と社会研究室 榎木 英介 代表理事 (オンライン講演)
場所	常葉大学静岡草薙キャンパス A201 教室 静岡瀬名キャンパス 大会議室 静岡水落キャンパス 207 教室 浜松キャンパス 601 教室 ※①人社系の場合、上記会場での参加またはオンライン参加 ②医療系の場合、オンライン参加
出席者数	常葉大学静岡草薙キャンパス 173 人 静岡瀬名キャンパス 17 人 静岡水落キャンパス 58 人 浜松キャンパス 114 人 合計 362 人

※出席者数には、オンライン（Zoom）による視聴者、短大部教職員も含む。

令和6年度第1回FD・SD研修会（全学共通研修会）を開催した。

本年度第1回は「研究倫理」を研修内容として、人社系および医療系の2種類の講演を開催した。人社系においては信州大学医学部公正研究推進講座の樋笠知恵助教による講演、医療系においては一般社団法人科学・政策と社会研究室の榎木英介代表理事による講演を実施した。

人社系では「研究不正行為と研究費不正～意図せぬ不正の防止のために～」をテーマに、主に国の取り組み・特定不正行為・各種事例から、責任ある研究活動の重要性についてお話があった。研究不正行為防止のために必要な取り組みとして、研究成果の客観性や再現性を確保するため、適切且つ丁寧な研究データの管理・保存の継続が重要といえる。医療系では「研究公正 最新の動向 医学編」をテーマに、主に医療系において起こりやすい研究不正・キャンパスハラスメント・事例紹介から、研究不正によるリスクについてお話があった。特に医療系では、意図せぬデータ改ざん（画像処理等）に該当する事例も多く、それらに対する適切な知識等の習得の必要性がある。

研究倫理の推進は、研究者の社会的信頼を確保すると同時に研究者自身を守ることに繋がる重大な意味合いをもつ。引き続き、研究倫理研修を通じて最新の動向や知識等の共有を推進することで、教職員個々の知識・認識の向上および醸成を図る。